

三学期 始業式 式辞

新年、あけましておめでとうございます。

二学期の終業式に、「新年に志を立て、自分の目標や変えるべき点を決めてください。」とお願いしました。

どうでしょう。決められましたか？

今年は今和二年。2020年です。そしてオリンピッククイヤーです。

何となく幸運で、新しい出来事が訪れる予感もします。

令和二年の「二」2020年の「2」。なぜか「2」が関係します。

しかし、実は今年が始まりの年でもあります。十支の『子年』です。子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥のはじめの「子」です。

「子」には、一番目やすばしっこい、また、新しい生命が種子の中に萌し始める というような意味があるそうです。

新たに事を始めるにはとてもいい年だと思います。そして、今日、一月八日は「六曜」の『先勝』です。

この六曜は、大安や仏滅など、日本では昔からその日の運勢を示す暦の上の日です。

あまり、運勢や謂われなどにはこだわりたいくはないのですが、今日の『先勝』は、（先んずれば必ず勝つ）つまり、今日は午前中に物事を行うことがよし とされている日です。

すでに、宿題を提出出来た人は、きつと素晴らしい始まりです。ちなみに、午前中といっても、午後二時までならよしとされています。

さて、今年、三年生は四月から新しい生活が始まります。ぜひ、自分の人生を自分の手で切り拓き、創って行ってほしいと思います。

文化祭の時に、生徒会で創ったモニユメントの中に、「生まれ変わっても、自分になりたい」と思える自分になる。」という目標を書いた人がいました。皆さんは、これからそんな自分をきつと創っているはずですよ。

二年生は、先輩達のよき伝統を引き継ぎ、中心となって、今年はどんな高山中にしますか？

先にも言ったように、今年はオリンピッククイヤーです。世界が東京を目指します。

同じように高山中も、吾妻郡から、群馬県から注目され目指される学校にしていきたくはないですか。

三年生や卒業生達の作ってくれたよき高山中をさらに大きく、高く、高山中の名前を響かせるための先頭に立つ役割として、何事にも率先して動き、みんなで力を合わせながら進むことを期待しています。

一年生。一年生はまず今年度の成果と反省を一年生の内にしっかりしてほしいと思います。

本校に入学して、たくさん成長した部分と、反省すべき点があると思います。

それらをこの三学期中に確認し、四月の進級時には、入学してくる後輩達に胸を張って示せる存在になってほしいと思います。

この三学期は、今まで行っていた朝部活動、朝ラニングがなくなります。その時間を寝て過ごすのか、自分のために有効に使うのかも試されます。三学期の登校日は、三年生は四五日、一二年生は五三日です。

一日一日、一時間一時間に目的を持ち、大切に生きて、自分の目標に近づけるよう92名の全校生徒と、20人の職員で取り組んでいきたいと思いません。

以上、新しい年を迎えた令和元年度三学期始業
式の式辞といたします。

令和二年 一月八日

高山村立高山中学校

校長 中澤 昌宏